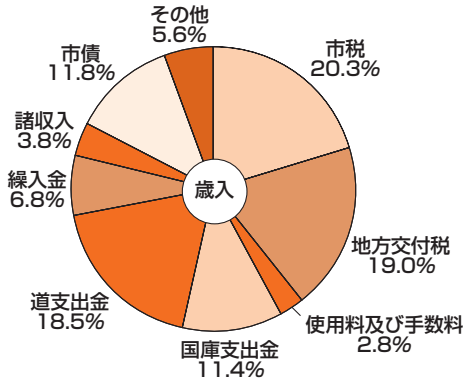


まちの予算

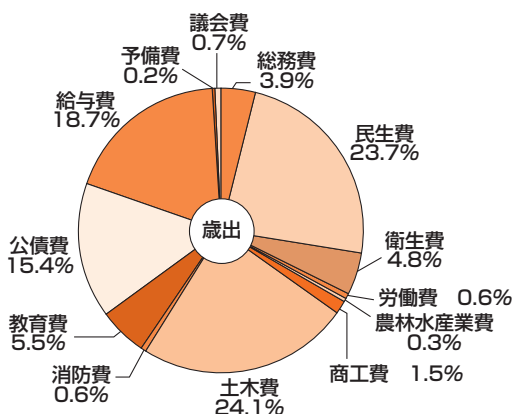
一般会計歳入 (単位：万円)

費目	平成16年度		平成15年度 当初予算額
	当初予算額	構成比	
市税	508,037	20.3	506,278
地方交付税	476,800	19.0	534,000
使用料及び手数料	70,256	2.8	65,204
国庫支出金	284,596	11.4	276,914
道支出金	464,319	18.5	235,835
繰入金	171,016	6.8	159,016
諸収入	94,785	3.8	114,973
市債	294,570	11.8	399,700
その他	141,621	5.6	120,080
合計	2,506,000	100.0	2,412,000



一般会計歳出 (単位：万円)

費目	平成16年度		平成15年度 当初予算額
	当初予算額	構成比	
議会費	16,923	0.7	17,507
総務費	98,485	3.9	100,034
民生費	593,724	23.7	535,360
衛生費	119,508	4.8	266,496
労働費	14,753	0.6	14,284
農林水産業費	8,307	0.3	8,274
商工費	36,846	1.5	66,605
土木費	605,251	24.1	388,119
消防費	15,270	0.6	13,497
教育費	138,417	5.5	220,766
公債費	384,991	15.4	290,786
給与費	468,525	18.7	485,272
予備費	5,000	0.2	5,000
合計	2,506,000	100.0	2,412,000



一般会計歳入

- ◎市税…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、入湯税があり、市の収入の5分の1を占めています。
- ◎地方交付税…市が行わなければならない行政サービスを実施するため、財政状況に応じて国から配分されるお金。
- ◎使用料及び手数料…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金。
- ◎国庫(道)支出金…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金。
- ◎繰入金…基金(家庭でいうと貯金)を取り崩して使用するお金。
- ◎諸収入…貯金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など。
- ◎市債…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金。
- ◎その他…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など。

一般会計歳出

- ◎議会費…市議会に関することに使うお金。
- ◎総務費…国際交流や各地域との交流、広報広聴活動などに使うお金。
- ◎民生費…福祉に関することに使うお金。
- ◎衛生費…健康や予防、ごみなどの処理に関することに使うお金。
- ◎労働費…労働に関することに使うお金。
- ◎農林水産業費…農業や水産業に関することに使うお金。
- ◎商工費…商工業に関することに使うお金。
- ◎土木費…都市基盤整備に関することに使うお金。
- ◎消防費…火災や救急業務に関することに使うお金。
- ◎教育費…教育に関することに使うお金。
- ◎公債費…長期借入金の返済に使うお金。
- ◎給与費…職員の給与に使うお金。
- ◎予備費…予備のお金。

特別会計・事業会計

平成16年度各会計予算総括表 (単位:万円)

会計区分	平成16年度		平成15年度
	当初予算額	構成比	当初予算額
一般会計	2,506,000	55.0	2,412,000
特別会計	1,891,870	41.5	1,818,100
国民健康保険	593,130	13.0	532,420
学校給食事業	34,090	0.7	35,680
公共下水道事業	339,580	7.5	374,620
老人保健	657,040	14.4	624,000
簡易水道事業	4,770	0.1	4,950
介護保険	263,260	5.8	246,430
水道事業会計	158,420	3.5	165,513
収益的支出	95,040	2.1	94,240
資本的支出	63,380	1.4	71,273
総合計	4,556,290	100.0	4,395,613



● 国民健康保険特別会計

国民健康保険加入者の医療費の一部助成や各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

● 学校給食事業特別会計

市内の小・中学校や保育所に給食を調理・配送し、子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を提供します。

● 公共下水道事業特別会計

都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。本年度は、美園町、若草町、栄町、幸町方面の下水道を整備します。この整備で、登別市の下水道普及率は84%、整備面積は959haになります。

登別地区の汚水の中継するための幌別ポンプ場は、平成15年度から今年度までの2カ年で建設を行い、平成17年度の供用開始を予定しています。

若山浄化センターは、水処理施設の増設を行います。公共下水道整備区域外となる『個別排水処理区域』では、住民の要望により市が浄化槽を設置・維持管理をする『個別排水処理施設整備事業』を平成16年度から行います。

● 老人保健特別会計

高齢者の医療費軽減を図るため、医療費の一部助成などを行います。

● 簡易水道特別会計

札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

● 介護保険特別会計

介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

● 水道事業会計

安全で良質な水の供給や新配水池の建設、配水管の整備などを行います。



予算のポイント

登別市の平成16年度当初予算は、国の『三位一体の改革』の影響を受け、地方交付税や国庫補助金の大幅な削減など厳しい財政環境の中、歳入では市税徴収率の向上やごみ処分手数料の見直し、歳出では一般事務費や旅費などの削減、手当の見直しや職員数の削減などによる人件費の縮減、民間委託の積極的な推進を行うとともに、投資的経費について優先度や効果などを総合的に勘案して選択するなど、経費全般について徹底した節減合理化と事務事業の見直しに努めました。

一般会計の主な歳入では、市税が50億8千370万円(対前年度比0.3割増)、地方交付税は47億6千800万円(同10.7割減)で、臨時財政対策債と合せた実質的な交付税は55億7千300万円(同12.7割減)、市債は登別保育所建替事業充当債や新市民プール建設事業充当債など29億4千570万円を見込むほか、財政調整基金積立金などから9億7千万円を取り崩すなどして厳しい財政状況に対応します。

一般会計の主な歳出では、必ず支出しなければならぬ義務的経費について、人件費は1億6千440万円減少したものの、扶助費が2億8千70万円、公債費が9億4千220万円増加(借換債8億6千850万円があるため実質的に7千370万円増加)しました。

都市基盤整備など公共事業のために支出する『投資的経費』は、1千410万円増加(水道整備にかかる受託事業を除いた実質的な投資的経費は22億8千560万円減)し、57億2千968万円となりました。